

はこだてでシルバーだより



佐々木 紀代彦会員

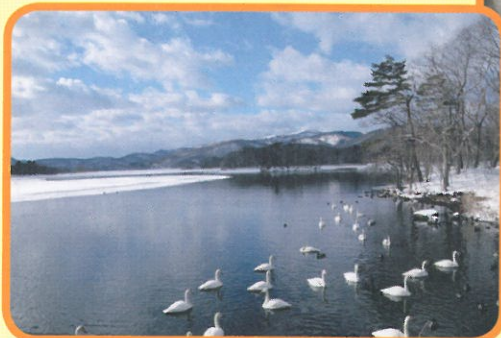


林 英男会員

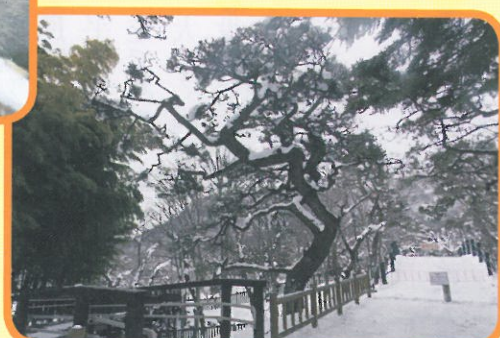


栄田 武志会員

写真同好会作品



阿久津 貞夫会員



小林 邦子会員

平成 29 年 12 月号



冬号

No.113

●“手”が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします！

函館市若松町33番6号（函館市総合福祉センター 2階）

電話（0138）26-3555

FAX（0138）23-7531

E-mail：hakosc@sjc.ne.jp

HP：http://www.sjc.ne.jp/hakosc/

「第五回理事会」報告 十月三十一日 開催

★報告事項

- (1) 正特会員及び賛助会員の入会について(平成29年7月～9月)
- (2) 事業運営状況報告について(平成29年7月～9月)

①会務報告

②事業実施状況報告

- (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
- (4) 函館市への支援要望について
- (5) 財政援助団体等監査の実施について(函館市監査事務局)
- (6) 旅行会について
- (7) シルバー人材センター事業普及啓発月間について

①第二回清掃奉仕活動

②街頭啓発活動

★協議事項

- (1) 平成三十年度「函館市への補助金要望(案)」について
- (2) 長期就業会員募集要領(案)について
- (3) 役員による就業開拓事業(案)について

★その他

平成29年重大事故・重篤事故発生例

以上、報告事項、協議事項を審議し承認されました。
主な内容は次のとおりです。

◎報告事項

● 九月末現在、正会員八百九十五名、賛助会員は四十八団体である。

● 事故発生状況は十月三十日現在、傷害事故三件、賠償事故六件、その他の事故四件の計十三件である。

● 九月末までの事業高は前年度比九十四・七％である。マイナス要因としては昨年度同様の剪定会員不足による受注制限、機械除草、手刈り除草の減少である。今後のプラス要因は選挙関連の業務が見込まれる。

● 函館市民会館が改修工事のため利用できなくなる団体を含め、サン・リフレ函館への利用団体の確保を図りたい。

● 函館市へ、「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践するシルバー人材センターへの支援、事業推進のために必要な補助金、委託費と公共事業発注の確保についてお願いをした。

● 財政援助団体等監査について は、事前に提出している監査調

書をもとに十月二十五日、監査委員から、「サン・リフレ函館の利用形態と利用状況、利用収入はどのようなになっているか」など、四点についてのヒアリングが実施された。

● 「旅行会」は二十名の参加で「津軽海峡フェリー」で行く下北半島周辺の旅」を実施した。(P6に記載)

● 「清掃奉仕活動」は百三十三名が参加した。(P4に記載)
終了後の「街頭啓発活動」では三ヶ所でチラシなどの配布を行った。(P5に記載)

◎協議事項

● 平成三十年度函館市への補助金要望については、国の補助金予算概要と同額を要望した。

● 長期就業会員募集に関しては、平成三十年度は三十一名の募集予定である。申込用紙については、大きく内容は変わっていない。

● 役員による就業開拓事業は十二月四日から八日までの間に企業訪問を行う。

◎その他

● 道内センターでの重大事故等について報告。(P4に掲載)

就業委員会報告

第二回就業委員会は、十月十二日(木)に開催し、①交替会員について②募集要領についての二点を協議し、承認されました。

内容は次のとおりです。

- 平成三十年度の募集人数は、男性二十二名、女性八名、求人一名の計三十一名となる。交替会員が少ない要因は長期就業の年数が、三年から四年に変更した時期のためである。
- 見晴公園清掃業務は本来女性会員が対象となっているが、会員不足のため男性での対応も視野に入れる。
- 応募要領等に昨年度と大きく変化はない。
- 募集期間は、十一月二十二日(水)を締切りとし、十二月六日(水)に説明会を開催、十二日(火)・十四日(木)で面接会を実施する予定。
- 結果については、一月中旬に第三回就業委員会にて協議、一月下旬の理事会で承認を受け、二月月上旬に会員に対して結果を通知する。

就業委員会の検討結果については、十月三十一日(火)開催の第五回理事会において承認されました。

地区懇談会

十月二十六日(木)に函館市亀田福祉センターで今年度の地区懇談会を会員三十二名の参加(昨年は、五十八名の参加)で、開催されました。今年度は、これまで、夜間の開催でしたが、昨年の地区懇談会で要望があり、初めて日中の開催としました。

進行は、十五地区の西村地区長にお願いをし、五十嵐事務局長の挨拶に続き、参加地区長・事務局職員の紹介があり、懇談に入りました。



懇談内容及び会員の意見

①開催時間帯について、昨年の地区懇談会で要望があり、日中

に開催したが、参加人数が昨年より激減しており、見直しが必要ではないか。
②懇談会の内容について、事務連絡的なことが多く、会員に身近な配分金や派遣の賃金の話やお客様からのクレーム等について議題にすると参加人数も増えてくるのではないか。



③施設管理について、現在、サン・リフレ函館の指定管理者をしているが、事業高が落ちてきており、新たな就業先の開拓をする必要がある。



あり、施設の管理等を請負うことは出来ないか。
④冬期間の交通手段について、冬期間は二輪車禁止とあるが、路面が凍ってなければいいのか。はつきり、十一月から三月までと決めてしまった方がいいのではないか。

以上のような意見がありました。

それぞれ、貴重な意見として、理事会や事務局で協議し、現在抱えている、除草や除雪、剪定や毛筆筆耕等の会員不足等の問題も含めて、今後の運営に結びつけていきたいと考えています。

賛助会員の皆様 ありがとうございます

賛助会員の皆様には、シルバー人材センター事業に深いご理解を賜わり心からお礼申し上げます。今後ともシルバー事業の発展のため、種々ご指導ご協力をお願いいたします。

賛助会員 五十四団体

平成二十九年十一月末現在

団体名	
三浦商会	(株) 水道
(株) 長門出版社	(有) 三和印刷
(株) 日本一金物店	函館環境衛生(株)
辻商事(株)	

平成29年8月16日～11月末現在 (敬称略・順不同)

安全・適正就業委員会「コーナー」

安全巡回パトロールの実施について

八月三十一日に植木剪定、見晴公園維持作業、機械除草(二ヶ所)のパトロールを実施しました。

◎パトロールの実施結果は次のとおりです。

★植木剪定

・就業現場は、低木が多くシルバーに適した現場であった。

・剪定作業前に下草処理を行っており、綺麗な作業を心掛けていた。

・様々な現場に対応出来るように長さの違う脚立

やハサミ等数種類の道具が用意されていた。

★見晴公園維持作業

・四メートル弱のオンコをバリカンで刈り込み作業を行っており、疲労を考慮し、除草作業と交互に行われていた。

・蜂や虫対策のため、携帯用の蚊取り線香を腰に取り付け、作業が行われていた。



★機械除草

・公園内の除草作業を行っており、近隣の住宅に石等が飛散しないように、飛散防止ネット等を使用し、細心の注意を払い作業が行われていた。

・刈払い機の飛散防止カバーを会員が独自に製作し石が飛ばないように努力しており、安全就業に対する意識の高さを感じた。



道内センターで死亡事故発生

道内のセンターで、死亡事故が三件(就業途中の電車の中で心肺停止、刈り草を車で収集途中で荷台から転落、機械除草中に心肺停止)発生しました。また、剪定作業中に梯子から落ちて頸椎を損傷する重篤事故も一件発生しました。これからは、転倒事故や心筋梗塞等の身体的障害が出やすい冬期間となりますので、会員の皆さん十分に気をつけましょう。

平成二十九年度 安全標語 最優秀作品

「まあいいか見逃す気持は赤信号」

古伯 幸夫 会員

シルバーの日に今年も清掃奉仕活動

10月14日(土)
133名参加



函館駅周辺
(39名参加)



五稜郭電停周辺
(12名参加)



「シルバーの日」の10月14日(土)、恒例の秋の清掃奉仕活動を市内5ヶ所で行いました。8時30分までに各集合場所に集まり集合写真を撮って、「車道には絶対降りないように歩道のゴミだけを拾って下さい」との地区長さんの注意を受けた後、「今日はシルバーの日」と「就業を通して地域社会で活躍します」ののぼりを掲げ、秋晴れのもと気心の知れた仲間と小さなゴミまで見落とさず拾って今年も心地良い汗を流しました。清掃奉仕のご褒美に今年も素敵な今治タオルを貰って笑顔で解散、皆さんお疲れ様でした。



鍛神小学校周辺
(41名参加)



函館アリーナ・市民会館周辺
(23名参加)



亀田中学校周辺
(18名参加)



高齢者雇用就業パネル展



十月の「普及啓発促進月間」に合わせて、「高齢者雇用就業パネル展」が、十月二十四日から四日間、市役所一階市民ホールで開催されました。

四日間の来場者数は千人近くで、多数の市民の方々が訪れ、興味深く鑑賞されていました。

写真パネルでは、事業活動紹介として「就業風景」「函館市民とのかかわり」「安全就業への取り組み」、サン・リフレ函館での「文化・教養講座」の活動状況を紹介しました。今年度も来場された方のパネル展への関心は高かったようです。今回のパネル展に出品、ご協力をいただきました会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。

今年度は市民ホールの一部が工事中のため、展示スペースが狭くなり、作品数は減りましたが、絵画、手工芸品、写真同好会員が撮影した作品、会員が自費出版した「古代の素数表」や切手を一枚一枚丸

めて貼ったアート作品など個性豊かな作品も展示されていました。その他にサン・リフレ函館の水彩画教室受講生による作品、文化教養講座の受講生による作品など、どれも素晴らしい作品でした。



街頭啓発活動実施

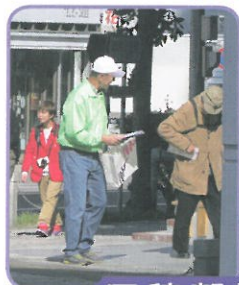
～シルバー人材センターをPR～

十月十四日(土)、清掃奉仕活動終了後、多くの市民のみなさんにシルバー人材センターの存在を理解し、活動を知っていただくため、職員が「函館駅前」「五稜郭」「美原」の三地区で街頭啓発活動を実施しました。

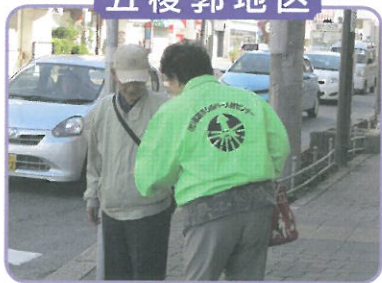
今後とも、このような活動を通し、一人でも多くの人にシルバー人材センターの存在を知っていただき、就業拡大に繋げて行きたいものです。



美原地区



五稜郭地区



函館駅前地区



会員厚生部会コーナー

下北半島周辺の旅と美人の湯

会員の福利厚生と親睦を目的とした今年の旅行会は、九月二十六日(火)、二十七日(水)の一泊二日で、津軽海峡を渡る「下北半島周辺の旅と美人の湯」でした。

朝から雲一つない「快晴です!」。渡部理事長より出発前に挨拶をいただき、第一声「皆さんの日頃の行いが良かったので、本日はすばらしい秋晴れです」と、いつにも増して元気な声に、参加者の皆さんから笑顔がこぼれ、楽しい旅の予感に包まれました。

◆一日目◆

九時三十分、津軽海峡フェリー「大函丸」が出航。穏やかな潮の流れに誘われ、デッキに上がり、輝く太陽と爽快な海風をうけ、津軽海峡越



えを体感しました。

一時間三十分で大間港です。「九十分で青森、本当に近いんだあ」と感じながら、天気の良い日は下北半島がはつきり見え、青森から函館山はどんな風に見えるのかなあ?と言う思いが、一瞬脳裏をよぎりました。佐井で昼食を済ませ「仏ヶ浦」まで遊覧観光です。



「仏ヶ浦」

は、風雪や海水に浸食された岩肌から、自然の脅威を感じました。

次は、怖い物見たさの「恐山霊場」で

す。整然と積まれた小石の山が無数にあり、思い描いていた怖さは微塵も感じられませんでした。逆に石の小山にそつと小石を積み、手を合わせると、なぜか穏やかな気持ちと有難い思いが溢れてきました。是非一度、先祖の供養に訪れてはいかかでしょうか。夜は「斗南温泉美人の湯」での



大宴会です。参加者は二十名と少数でしたが、全員、我こそは主役と言わんばかりに、カラオケやビンゴゲームに多いに盛り上がりました。



◆二日目◆

早朝から「美人の湯」の露天風呂に入り、茨城からの奥様方とご一緒し、「これ以上美人になつたらどうすつぺな」と大笑い。会話を弾ませていたところ、地震がありました。ホテルの上階層は多少揺れたようで、私は全く気づかず「いい湯だなあ」でした。

二日目も快晴です。ホテルの朝食を済ませ、本日のコース「尻屋崎灯台」の周辺を散策し、その後は楽しみの買い物ツアーです。「お煎餅の八戸屋」で焼き立てを頼張

り「下北名産センター」では海産物を試食、いつの間にか両手一杯の土産を買い求めました。

昼食は「むつブランドホテル」最上階のレストランでのランチです。地元で評判の「海軍コロツケ」は、コロツケとはいえ、お洒落でクリーミーなおいしさはさすがに美味でした。

青森を再認識できた下北半島の旅は、事故もなく、最高の天気にも恵まれ、豪華なホテルの料理と美人の湯、そして参加者の皆さんの笑顔いっぱいのお楽しみ旅でした。来年度は、「道内の旅」を企画しておりますので、是非お誘いあつてご参加ください。

新年懇親会

平成三十年「新年懇親会」を次の日程で開催します。詳細は地域班を通して案内いたしますので、お誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい

日時 平成三十年一月十七日(水) 午後五時より

会場 五島軒本店 (函館市末広町四一五) (電話二三一―二〇六)

会費 五、五〇〇円

※会場と時間は、お間違えのないようお願い致します。

会員の集い開催!!



今年も「いい夫婦の日」十一月二十二日(水)に、湯の浜ホテルにて「会員の集い」

が行われました。

六十二名の参加をいただき、午前十一時三十分、阿部副理事長から開会の挨拶があり、続いて今年喜寿を迎えられた、飛田泰昭さん、山本忠男さん、



藤沢テル子さん、永山紀一郎さん、以上四名の方へ記念品の贈呈がありました。

次に、今泉会員 厚生部会副部長

の「いただきます」の発声で懇親会に入り、会場は、豪華な幕の内弁当を食べながら楽しい会話が飛び交っておりました。

本日の余興は、カラオケが三つのグループに構成され、カラオケを挟み「ビンゴゲーム」と、



喜寿のお祝い



年末のツキを試すラッキー賞「じゃんけん大会」の、豪華なプログラムです。

カラオケ大会では、「うまいねえ：かなり金が掛かっているねえ」などと、真剣に歌っている



る歌手の皆さんへ大拍手です。舞踊も加わり、会場は華やかな雰囲気で大いに盛り上がりしました。

お楽しみのビンゴゲームでも、持っているカードの数字がなかなか呼ばれず、「ああ：残念、1番違い！」と一段と力が

入り、会場からの「リーチ」と叫ぶ声にますますあせります。これがビンゴゲームの面白いところですね。当たった方は、豪華な賞品を手に喜び合いました。



一番の盛り上がりは、いつも明るく笑顔で対応される對馬事務員との「じゃんけん大会」です。皆さん、一同に子供に返り、腕を高く上げ真剣に大きな声で「じゃんけんぼん」と格闘しておりました。最後、勝ち残った十名の方に景品が贈られ、皆さん、ニコニコと子供のようでもなまる笑顔でした。



余興も終了し、最後は福田厚生部会副部長の閉会の挨拶で盛会のうちに終了しました。

「楽しかった」「次回もよろしくお願いします」の声をいただき、担当者のひとりとしてうれしい限りです。参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

冬休みものづくり体験

毎年、好評をいただいております小学生対象としたものづくり体験を、冬休み期間中の平成三十年一月十日と十一日に開催いたします。申し込みは先着順となりますので、早めにお申し込みください。

○ペーパークラフトバンドで「指ハブ」を作ろう

・日時 平成三十年一月十日(木) 午後一時三十分～

・会場 函館市総合福祉センター (若松町33-6) 一階集会室

・参加費 五百円

・講師 山本 勝太郎

○牛乳パックの舞台で踊るピエロとバレリーナを作ろう

・日時 平成三十年一月十一日(木) 午後一時三十分～

・会場 函館市総合福祉センター (若松町33-6) 一階集会室

・参加費 五百円

・講師 阿部 光輝

○申込先(電話・先着順)

函館市シルバー人材センター
電話 二六・三五五五

道シ連 道南ブロック 会議開催

年に一度、渡島・胆振・日高管内十一のシルバー人材センターの理事長・事務局長が一堂に会する道シ連道南ブロック会議が、十一月十六日・十七日の二日間苫小牧市で開催され五十嵐事務局長が出席しました。熊木副部会長の挨拶で始まり、道シ連の林事務局長から平成三十年度予算概算要求、事業実績の推移、第二次百万人会員達成計画についてなどの説明がありました。



次に、検討課題として、「会員の健康状態の把握について」、「二人一会員入会活動について」など、各シルバーが抱えている課題について、取組方の意見交換が活発に行われ、大変有意義な会議となりました。

なお、道南ブロック職員研修は、十一月二十八・二十九日伊達市で開催されました。

事務局職員の異動

◎退職

武井 哉子 (事務員)
近江谷 真岐 (事務員)

九月三十日付

◎採用

上田 美春 (事務員)
木村 美幸 (事務員)

一日も早く仕事を覚えられるよう頑張っております。事務局にお越しの際はお声を掛けてください。

年末年始の休業期間と 履行確認書提出について

当センターの年末年始休業期間は、十二月二十九日(金)～一月三日(水)までです。お間違えのないようご確認願います。

仕事納め	十二月二十八日(木)
休業期間	十二月二十九日(金) ～一月三日(水)
仕事始め	一月四日(木)
確認書締切日	一月四日(木)必着

◆配分金支払日◆

十一月分	十二月二十日(水)
十二月分	一月十九日(金)
一月分	二月二十日(火)
二月分	三月二十日(火)

※銀行口座の変更をした場合は速やかに事務局へ連絡願います。



謹んでお悔やみ
申し上げます。

中村 弘さん (八十五歳)

6地区3班 10月2日

西村 孝仁さん (六十八歳)

15地区2班 11月17日

つぶやき

▼毎年十一月十日は無電柱化の日と言われておりますが日本は電線や通信線の無法地帯で立ち並ぶ電柱には景観が良くありません▼日本に立っている電柱は約三千五百万本で年間約七万本ずつ増えております。地中化は地上の場合に比べ一km当たり三千万円の十倍強の費用がかかります。しかし他国も条件は同じです。ロンドン、パリの地中下率は100%、ソウル四十六%、北京三十四%、東京都で四・六%とかなり日本は遅れております▼函館市では駅前通り、本町、五稜郭、元町など一部地域のみ無電柱化されておりますがまだまだです。無電柱化し景観が改善された伊勢市のおはらい町では木造建築の町並みをよみがえらせ観光客が二百万人が四百万人を超えるようになり又川越市の蔵造りのまちなみよみがえり年間百五十万人が四百万人に増えたそうです▼電線や通信線などを地中に埋設し電柱を道路からなくすることは災害時に電柱が倒れる危険をなくすることだけでなく歩道が広くなり景観も良くなるかと思うのは私だけでしょうか。(新)